

# 事務事業評価シート

(平成 25 年度実施事業)

事務事業名	予算編成事務			事業コード	1573
所属コード	031000	課等名	財政課	係名	
課長名	長澤 秀 則	担当者名	阿 部 俊 之	内線番号	2617
評価分類	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 公の施設	<input type="checkbox"/> 大規模公共事業	<input type="checkbox"/> 補助金	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理

## 1 事務事業の基本情報

### (1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード	8	
	施策	健全な財政運営の実現	コード	1	
	基本事業	健全な財政運営	コード	2	
予算費目名	一般会計 2 款 1 項 3 目 予算編成事務 (001-01)				
特記事項					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰越	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	25 年度～
根拠法令等	地方自治法				

### (2) 事務事業の概要

単年度ごとに予算編成事務（当初）を行うほか、必要に応じて補正予算に係る編成を行う。

### (3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

### (4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

歳出予算に占める扶助費などの義務的経費の割合が高く、投資的経費などの臨時的な財政需要に対応できない硬直化した財政構造となっている。また、社会保障関係経費の自然増や公共施設の改修・更新経費の増加の一方で、合併算定替期間の終了に伴う地方交付税の段階的な減少など財源の安定的な確保が課題となっており、本事務事業の実施にあたっては、厳しい局面を迎えることが想定されます。

## 2 事務事業の実施状況 (Do)

### (1) 対象（誰が、何が対象か）

一般会計歳入歳出予算

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 見込み
A 予算額	千円	113,216,775	112,824,527	103,347,0000	110,545,688	106,070,000
B						
C						

(3) 25年度に実施した主な活動・手順

- ・平成26年度当初に向け、施策別枠配分方式による予算編成作業
- ・国からの地域の元気臨時交付金を活用した事業実施や、大雨等の災害に対する復旧に係る補正予算の編成作業（計9回）
- ・予算編成方式の見直しに向けた課題抽出作業

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A 予算枠配分額（一般財源）	千円	32,299,814	31,917,303	29,936,481	32,531,262	30,368,524
B						
C						

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

財政見通しに基づいて、総合計画や新市建設計画の進捗状況を勘案しながら実施事業の精査を進め、予算総額を適正な規模に抑制し、財政の健全化を目指す。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A 投資的経費（一般財源）	<input type="checkbox"/> 上げる <input checked="" type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	千円	3,082,100	2,628,832	2,524,096	2,984,717	2,256,019
B 市債依存度	<input type="checkbox"/> 上げる <input checked="" type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	%	8.1	7.8	5.3	5.4	8.0 以内
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

## (7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度実績	24年度実績	25年度計画	25年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	22,491	22,491	22,491	22,491
	⑤その他( )	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	0	0	0	0
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	8,000	7,000	7,000	7,500
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	32,000	28,000	28,000	30,000
計	トータルコスト A+B	千円	54,491	50,491	50,491	52,491
備考						

## 3 事務事業の評価 (See) . . . . .

### (1) 必要性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

② 市の関与の妥当性

③ 対象の妥当性

④ 廃止・休止の影響

### (2) 有効性評価 (成果の向上余地)

- ・ 投資的経費の厳選によって、一般財源の削減及び市債抑制を図ることが可能である。
- ・ 行政評価システム (事務事業事前評価等) と連動した予算の重点配分等を行っているが、事業採択時期や採択時点での事業費精査を行うことで、より効果的な予算編成が図られる。

### (3) 公平性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

### (4) 効率性評価

予算編成方法の検討及び見直しにより、なお一層の効率的事務執行に努めることができる。  
また、人件費の削減については、短期間の集中事務について、予め準備を行うなど時間外勤務の抑制を図る余地がある。

## 4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .

### (1) 改革改善の方向性

- ・限りのある一般財源を効果的に配分するために、行政評価システムと連動して、事務事業の優先度を明確にした上で予算編成作業を進める。合わせて、機動的な予算編成を可能とするとともに、予算配分枠に対する担当部署の調整が十分に機能するよう、予算編成方法の見直しを行う。
- ・投資的事業については、総合計画及び新市建設計画を着実に推進する予算編成とするとともに、市債の抑制を図るよう管理を行う。

### (2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

枠配分方式において施策又は部署での予算調整が機能せず、配分額を超過した要求が想定される。これについては、枠内での要求という全庁的な合意を得たうえで、超過時には予算要求を受け付けられない等の運用を徹底する必要がある。

## 5 課長意見 . . . . .

### (1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

### (2) 全体総括・今後の改革改善の内容

限られた財源を有効に使い、総合計画及び新市建設計画事業を着実に推進するために行政評価システムを活用した施策別予算配分方式を導入し、総合計画事業の所要一般財源を確保しつつ、施策の区分ごとに傾斜配分した予算の中で、施策内の各事務事業の優先度を勘案しながら予算調整を行ったが、前年度までと同様に配分額を超過した要求がされたことから、調整に苦慮した。

今後は、税収の減少等により一般財源の確保が困難となる状況の中、総合計画及び新市建設計画事業の着実な推進を図る必要があることから、平成 25 年度当初予算編成における問題点を把握して、予算編成の方法についてのさらなる検討を行う。